

新年にあたって

会長 船木正也

2025年の年が明けました。今年は六十干支でいうと乙巳(きのとみ)にあたります。

「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味するそうです。私はこれを『これまで辛抱強く努力や準備をしてきたことが実を結び始める時期』と解釈しました。焦らず粘り強く取り組む姿勢で着実に前進し続ければ、きっと最終的には望む結果に近づくことができるのだと思います。

日本ではバレーボール界のみならず、スポーツ界全体が、種類は違ってもそれぞれに克服しなければならない課題を抱えていると思います。但し、いずこにも共通するのは、少子化という要素に加えて、青少年のスポーツ参加率が長期にわたって減少傾向にあり、それぞれの競技が将来の成長戦略をしっかりと考えなければならない時期にきている、ということではないでしょうか？

昨今は、バレーボール競技が話題になることが増えてきました。昨年のパリオリンピックでの成績こそもう一歩といった感があったとはいえ、テレビ各局ではバレーボールに関する報道が増えてきたことは事実です。こうした好環境の中、バレーボールを通じて「する」「見る」「支える」関係人口や仲間を増やしながら地域社会に貢献していくことこそ、私たち長野県バレーボール協会が果たすべき大切な役割であると思います。その実現のためには、辛抱強く進めていく歩みを止めることはできません。

当県のバレーボール競技の将来を目論み、長野県ヤングクラブバレーボール連盟を中心に中学校部活動の受け皿作りを円滑に進めている一方で、昨年は SAGA 国民スポーツ大会でビーチバレー・少年女子(松商学園)が5位に、また同じく SAGA 全国障害者スポーツ大会でバレーボール競技・女子(長野県チーム)が初出場で4位に入賞したことは、当県バレー

ボールに於ける新しい一頁となりました。

気が付けば第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(愛称:信州やまなみ国スポ・全障スポ)はもう3年後に迫ってきました。長野県チームの強化と同時に、全国から集う競技仲間を温かくお迎えできるよう、当協会は多くの方の力を借りて、鋭意準備を進めていかなければなりません。

バレーボールが盛んな長野県にあって、SVリーグではVC長野トライデンツが、Vリーグでは信州ブリアントアリーズと長野☆GaRons が強豪との闘いに挑んでいます。そして小・中・高・大学・実業団・クラブ・ビーチ・ママさんなど、6人制・9人制を問わず多くの舞台で多くのチームが競技に真摯に向き合っています。

是非各チームが大きく躍進されることで、明るい話題を県民にたくさんお届けし、地域コミュニティに根差した社会作りの一助となりますことを心から願っています。

今年1年、長野県のバレーボールが益々発展するよう、是非とも皆様のお力添えを深くお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と大願成就を心からお祈りして、年頭の挨拶と致します。

以上



男女ともに決勝トーナメント2回戦敗退、上位への進出はならず

12月21日(土)、U-13・14各地区選抜チームの後輩達が見守る中、安曇野市立三郷中学校で壮行会を行って頂き、本協会の村上専務理事からは激励の言葉を頂戴致しました。その後、男女ともに 壮行試合や高校生との練習試合で最後の調整をして、24日(火)に長野県を出発。大阪での本大会に臨みました。

男子の試合は、Asue アリーナ大阪(大阪市中央体育館)をメイン会場に行われました。

予選グループ戦は群馬県・岐阜県と同組で、初戦の相手は岐阜県にフルセットで敗退して後がない群馬県との対戦でした。1セット目は初戦の硬さが見られたものの、効果的なサーブやブロックでリズム良く得点を積み重ね、ゲームの流れを失うことなく1セット目を先取しました。2セット目も群馬県のミスもあり、相手を8点に抑えて完勝。決勝トーナメント進出を決めました。



2試合目の岐阜県戦、第1セット中盤まではリードするも、中盤で逆転を許して19点でこのセットを失いました。2セット目も中盤に追いつかれましたが、何とか両エースが踏ん張って25-23で取り返しました。3セット目は両チーム一進一退の攻防でデュースになりましたが、長野県が16-14で勝利。この組の1位で決勝トーナメント進出を決めました。

翌日の決勝トーナメント1回戦はAコートの第2試合で、相手は15組2位の岩手県でした。1セット目は、中盤以降長野県が流れを掴んで21点で先取。2セット目は粘り強いレシーブやクイックなどで相手にゲームの主導権を渡すことなく18点に抑えて2回戦に進みました。

その2回戦は第5試合。相手は、1回戦で新潟県に圧勝した1組1位の長崎県。空いた時間を使い、帯同していただいたトレーナーの指示に従って体のケアや栄養補給を行った上で、相手の情報を整理して試合に臨みました。序盤はエース同士の打ち合いで接戦の展開でしたが、徐々にレセプションが乱れた上に相手の多彩な攻撃に遭って16点で1セット目を失いました。2セット目もゲームの流れを取り戻せず。焦りが

【県強化委員 牛田佳伸・齊間香里】

らミスも出たりして終始リードを許したまま、18点で2回戦敗退となりました。

一方の女子ですが、今年は平日練習に加え、週末には22という多くの他府県選抜チームとネットを挟み、力をつけた4ヶ月間でした。

女子の予選グループ戦の主会場はエディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)、その初戦の相手は大阪南で、大会終了後に「次世代有望選手」として表彰された180cmのオールラウンダー西村選手を擁する実力のあるチームとの対戦でした。1セット目は、セッターが満遍なくトスを散らしてアタッカーの力を引き出し、リズムよく25-19で奪取しました。2セット目は、逆に西村選手を中心にした大阪南の攻撃に押され、20-25で落としました。15点マッチの3セット目は、一気に長野ペースでスタートしたもののすぐに追いつかれ、拮抗した展開になりましたが、最後にアタッカー陣がスパイクを打ち切って15-12で勝利しました。

予選グループ戦2試合目は宮城県との対戦。大阪南に敗れて後が無い宮城の多彩なサーブに翻弄されて、1セット目スタートから完全に相手ペースとなりました。一時はダブルスコア以上の差が付きましたが、20点過ぎに追いついて何とか25-22で勝利。次のセットは一転、長野ペースで始まりましたが、矢張りサーブで崩されて終盤迄纏れる展開となりました。最後はエースがスパイクを決めて28-26でもぎ取りましたが、薄氷の勝利でした。しかし、これで予選グループ1位で決勝トーナメント進出を決めました。

決勝トーナメント1回戦では2-0で秋田県に勝利し、ベスト8を賭けての2回戦は埼玉県との対戦でした。1セット目は、最初6-2迄リードしたものの、10点過ぎに追いつかれ、その後も執拗なディフェンスに遭って20-25で落としました。2セット目はサイドアウトの応酬でスタートしたものの、中盤以降は夏の全国大会出場相手アウトサイドヒッターにコースを次々と打ち抜かれ、15-25で落として敗戦という結果になりました。

男女とも決勝トーナメント2回戦敗退という結果でしたが、選手達は4ヶ月間県内及び県外の高校生や



選抜チームと練習を重ねてきました。チーム結成当初と比べ、選手一人一人の技能や体力が大いに向上し、大会の中で練習の成果が発揮される場面をたくさん見ることができました。

最後となりましたが、本大会までに御支援を頂いた関係の皆様へ感謝を申し上げるとともに、今大会に出場した男女各 12 名の選手達の今後の更なる成長と活躍を期待したいと思います。

公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1養成講習会を開催

12月7日(土)、8日(日)、14日(土)の3日間、佐久市において標記講習会を実施しました。

会場が佐久平駅に隣接していることもあり交通の便が良く、36名の受講者のうち1/3は県外からの受講生でした。又、中学校部活動の地域移行により、ヤングクラブチームの指導者を目指す方の受講が多かったように感じました。

7日の開校式に続き、県内の公認講師・コーチ資格をお持ちの方々に講師をお願いして、決められたカリキュラムに沿いながら、特にコンプライアンスに重点を置いた内容の濃い講習会となりました。受動的な講習だけではなく、グループディスカッションも取り入れた豊富な内容で、受講者の皆さんも真剣に取り組んでいました。

【県指導普及委員 桑原康秀】

共通科目の合格者(免除者)は令和7年10月1日(水)にコーチ1として認定されます。

来年度は8月に開催を予定しております。



2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN VC 長野トライデント vs 東京グレートベアーズ

連日の手に汗握る好ゲームに、満員の観客も興奮!

2024年末12/28(土)29(日)に、ことぶきアリーナ千曲にてVC長野トライデントのホームゲームが開催されました。連日会場はほぼ満席、1日目2053人、2日目2254人の来場者でしたが、篠ノ井駅からのシャトルバス運行、駐車場はアリーナ付帯の400台分以外に、周辺の旧庁舎・スーパー・病院などで400台分を確保するなど受け入れ態勢に万全を期しました。県外からの来場者も多く応援比率は長野7対3東京ぐらいだったのでしょうか。また、小中学生無料だったことで子供たちの応援も目立ちました。

【ちくま協会会長 鈴木 功】

1日目、第1セット大事なポイントの時にサーブミスがあってもなかなか追いつけなかったが、中盤で三枚ブロックが決まり同点。相手にタイムアウトを取らせて終盤まで息もつけぬ大熱戦。24-23と一歩リードしセットポイントを先に取りましたが、デュースの末28-30で敗れてしまいました。

第2セット前半7-4と3点をリードしいけるか…と思いましたが、サイドアウトの応酬が続きどちらも後1点のセットポイントの取り合い、ハラハラドキドキ1セット以上の盛り上がり長いデュースの末31-33でこれまた敗れてしまいました。結果0-3の敗戦でしたが今日観戦した人は、もうこの2セットを見ただけでもラッキーだったのではないのでしょうか。



2日目、第1セット先取点はトライデントで始まり2点差以上に差が付くことなくシーソーゲーム。中盤15-15と同点するも追い越せず22-25。第2セットも同様に手に汗握るシーソーゲーム、#11のサービスエースの後、連続得点で11-11。中盤14-13とリードするがブロックに合い15-18と逆転される。#14の高〜いバックスを#16がスパイクしポイントをあげた場面がこの日一番盛り上がったのではないのでしょうか。これで22-23会場は追いつけ追い

越せの大声援でしたが、23-25 で連取されてしまいました。

第3セットもブロックの壁に阻まれ 19-25、セットカウント 0-3 の敗戦となりましたが、手に汗を握る好プレーの連続に、トライデントの勝利は見られなかったけれど観客の皆さんは満足気な顔で帰って行きました。年末にも拘わらず、ラインジャッジ・ボールリ

トリバー・モッパー・会場警備・受付など2日間に渡りご苦労いただいたみなさんが、最後のコートマット撤去やスタンド収納・ロングシート巻きなど最後までお手伝いしていただき本当に助かりました。

VC長野トライデントの今後の躍進を期待して報告とさせていただきます。ありがとうございました。

令和6年度 ミス/杯第 22 回6人制長野県クラブバレーボール選手権大会

男子はOJPが連覇！ 女子はS長野が接戦を制して優勝！

昨年に引き続き伊那市ロジテック・エレコムアリーナにおいて標記大会が開催されました。

男子は昨年より3チーム多い15チーム、女子は昨年と同じ5チームの参加がありました。コート数の関係で男子は3～4チームで15点2セットマッチのグループ戦を行い、各ブロックの1位チームによるトーナメント戦で順位を決定しました。女子は五角形の組み合わせでそれぞれ2試合を行い、順位を決定しました。男女ともに全試合2セットマッチで行ったため、息の抜けない熱戦が繰り広げられ、レベルの高い試合となりました。

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

男子の決勝は前年度優勝のOJPとFIVERとの対戦となり、OJPが2連覇を達成しました。

女子は勝率・セット率でS長野と上伊那選抜が並びましたが、得点率で上回ったS長野の優勝となりました。

年々参加チーム数が増えておりレベルも高くなってきております。6人制のリーグ戦開催も含め、クラブ連盟として選手の皆さんが楽しんでレベルアップに繋がるような大会を検討していきたいと思っております。

地元のクラブチームや上伊那協会の皆様には大会運営にご協力を頂き、感謝申し上げます。



令和6年度 全国高等学校選抜候補第一次合宿

高校長身選手発掘育成合宿(北信越ブロック)を開催

標記合宿は、全国高体連バレーボール専門部の強化事業の一つであり、長身選手の発掘・育成を目的とし、将来の日本代表選手の輩出を目指しているものです。今年度は長野県で行われ、岡谷東高等学校にて11月29日(金)集合、30日(土)開校式・体力測定・ボール練習、12月1日(日)ボール練習という日程で開催されました。

【県高体連専門委員長 中澤健祥】

北信越5県から、男子は185cm、女子175cm以上、セッターは男子が180cm、女子は170cm以上の長身選手が男子15名、女子14名が参加しました。また、JVAより山村宏太さんを講師に迎え、全国高体連強化委員の福井工大福井高校の西田先生と金沢商業高校の小坂先生にご参加頂き、全国高等学校選抜候補第二次合宿(ドリームマッチ)を目指して合宿が行われました。

1日目は17時に集合し、夜のミーティングで自己紹介、合宿の意味や姿勢についてコーチから助言がありました。

2日目は、先ず開校式があり、写真撮影後、体力測定が行われました。バレーボール指数を算出するために、身長・体重・両手指高・片手指高・9m3往復走・3回飛び・ブロック到達点・最高到達を測定しました。特に、最高到達点の測定では少しでも高い値を出すため、全員が意欲的に取り組んでいました。

体力測定終了後、3日目の午前まではボールを使った練習が行われ、選手たちが積極的に自分をアピールする姿が見られました。特に3日目の山村宏太さんの

講習では、ブロックの視点についての指導があり、熱心に取り組んでいました。練習終了後、閉校式が行われ、山村宏太さんより激励のお言葉を頂きました。最後に、参加選手には強化選手の指定証が授与され、全日程が終了しました。

この合宿で選考された男女各2名の選手は、2月に行われる全国高校選抜候補第二次合宿・全日本ジュニアオールスタードリームマッチに参加します。また、参加選手には将来、日本を代表する選手になるよう期待すると共に、自チームに戻っても更なる研鑽を積んで成長していくことを願っています。



2024-25V.LEAGUE MEN EAST

長野 GaRons 年内ホームゲーム最終戦を開催

この冬一番の寒気が日本列島を襲った12月7日(土)・8日(日)、長野 GaRons (以下、長野 GR) の年内ホームゲーム最終戦が須坂市市民体育館において開催されました。これまで6勝2敗でリーグ2位の長野 GR と、直近のゲームで4連勝中の3位埼玉アザレア (以下、埼玉) との好調同士の一戦でした。埼玉は、先の国民スポーツ大会において優勝した実力のあるチームです。

初日は、埼玉の高い攻撃への対応が遅れ、長野 GR も見せ場を作りましたが、要所でのミスが響いて流れを引き寄せることができず、0-3のストレート負けを喫しました。

2日目は、前日の反省から対策を立てて臨み、1・2セットとも序盤は長野 GR の連続得点で優位に試合を進めることができました。しかし、中盤になって埼玉の強いサーブにレシーブが崩され、相手の安定した守りもあってなかなかボールが床に落ちずに追いつかれる展開。最後は押し切られて2セットを失いました。3セット目に入っても同じ展開で、一時は9-4と5点差をつけましたが、少しずつ点

【須高協会理事長 黒岩龍也】

数を重ねられて、先に埼玉にマッチポイントを握られてしまいました。それでも粘りに粘ってデュースに持ち込み、最後はセンターからの速い攻撃で長野 GR が見事 29-27 で奪取しました。これを次に繋げたかったところですが、第4セットは地力に勝る埼玉が序盤からリードを保ち、そのままセットを奪われて長野 GR



は1-3で敗れました。小雪交じりの風がとても冷たかった須坂大会ですが、体育館内は手に汗握る熱戦が繰り広げられたことで、観客席からは長野GRの勝利を願って最後まで熱い応援が続きました。今回、長

野GRは勝つことができませんでしたが、選手たちも厚くて熱い応援に後押しされ、セットを重ねるごとに相手との差も縮まって、次回年明け早々のホームゲームが大いに期待できる試合内容でした。

12月試合結果

- ☆ 2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (12/1 VC長野)
<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32178>

- ☆ 2024-25 V.LEAGUE WOMEN (12/1 信州ブリリアントアリーズ)
<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32362>

- ☆ 2024-25 V.LEAGUE MEN (12/7~8 ガロonz)
<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32517>
<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32518>

- ☆ 天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会 ファイナルラウンド
https://nagano-va.or.jp/R6.12.22_tennohai_zenkoku.pdf

- ☆ ミズノ杯第23回6人制長野県クラブ選手権大会
https://nagano-va.or.jp/R6.12.15_MIZUNOcup_6club_keka.pdf

- ☆ JOC ジュニアオリンピックカップ 第38回全国都道府県対抗中学大会
https://nagano-va.or.jp/R6.12.28_38JOCcup.pdf

- ☆ 2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (12/28~29 VC長野)
<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32195>
<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32196>

1月スケジュール

1/4(土)~5(日)	2024-25 V.LEAGUE MEN (ガロonz)	(須坂市)
1/5(日)~12(日)	春の高校バレー 第77回全日本高等学校選手権大会	(東京都)
1/11(土)~12(日)	2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (VC長野)	(岡谷市)
1/11(土)~12(日)	2024-25 V.LEAGUE WOMEN (信州ブリリアントアリーズ)	(上田市)
1/15(水)	第82回国民スポーツ大会 競技会開催準備に係るヒアリング	(松本市)
1/18(土)~19(日)	2024-25 V.LEAGUE MEN (ガロonz)	(須坂市)
1/18(土)~20(月)	長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技会	(長野市)
1/21(火)	県スポーツ協会 令和6年度 第3回総務専門委員会	(長野市)
1/25(土)~26(日)	第一生命杯 第40回長野県中学校選抜優勝大会	(松本市) (安曇野市)
1/25(土)~26(日)	2024-25 V.LEAGUE WOMEN (信州ブリリアントアリーズ)	(上田市)
1/25(土)~26(日)	2024-25 V.LEAGUE WOMEN (東京サンビームズ)	(軽井沢町)
1/29(水)	第2回JVA加盟団体法人格取得および登録制度改革説明会	(東京都)

いつもNVAニュースをご覧いただき、誠に有難うございます

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします

本年もどうぞ宜しくお願いいたします

NVAニュース編集委員会

村上里志、赤間善浩、木下久資